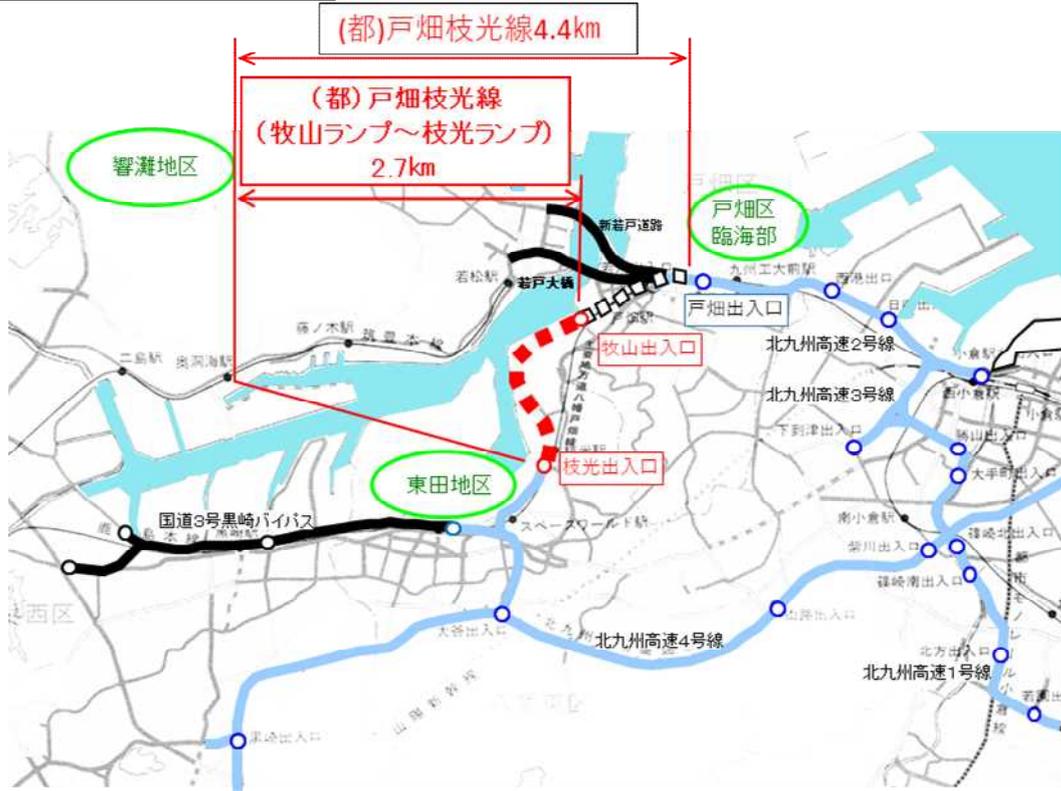


## 再評価結果（令和5年度事業継続箇所）

担当課：都市局 街路交通施設課 道路局 高速道路課  
 担当課長名：服部 卓也 橋本 雅道

<b>事業名</b>	地域高規格道路 <small>きたきゅうしゅう</small> 北九州高速道路 都市計画道路 <small>とばたえだみつせん まきやま えだみつ</small> 戸畑枝光線（ <small>まきやま</small> 牧山ランプ～ <small>えだみつ</small> 枝光ランプ）	<b>事業区分</b>	街路 都市高速道路	<b>事業主体</b>	北九州市 福岡北九州 高速道路公社
<b>起終点</b>	自：福岡県北九州市戸畑区 <small>とばたくまきやまかいがん</small> 牧山海岸 至：福岡県北九州市八幡東区 <small>やはたひがしくひがしだ</small> 東田五丁目			<b>延長</b>	2.7km
<b>事業概要</b>					
<p>北九州高速道路は、福岡県北九州市を放射環状型に結ぶ高速1号線から高速5号線の5路線により九州縦貫自動車道、黒崎バイパス等を相互に連絡し、都心と市街地周辺の各拠点間の連絡強化に寄与する地域高規格道路である。</p> <p>戸畑枝光線は、北九州高速2号線と北九州高速5号線を連絡し、北九州高速道路の一部として環状放射型の自動車専用道路ネットワークを形成する延長4.4kmの都市計画道路であり、うち牧山ランプ～枝光ランプの2.7kmについて、街路事業と有料道路事業の合併施行事業として整備を行うものである。</p>					
H23年度事業化		H5年度都市計画決定 (R4年度変更)		H24年度用地着手	
H25年度工事着手					
<b>全体事業費</b>	約182億円	<b>事業進捗率</b>	約80%	<b>供用済延長</b>	— km
<b>計画交通量</b>	17,300 台/日				
<b>費用対効果</b>	<b>B/C</b> <small>(事業全体)</small> 2.1  <small>(残事業)</small> 10.2	<b>総費用</b> <small>(残事業)/(事業全体)</small> 47/221億円 事業費：20/194億円 維持管理費：27/27億円	<b>総便益</b> <small>(残事業)/(事業全体)</small> 471/471億円 走行時間短縮便益：382/382億円 走行経費減少便益：50/50億円 交通事故減少便益：39/39億円	<b>基準年</b>  令和4年	
<b>感度分析の結果</b>					
<small>(事業全体)</small> 交通量：B/C=1.9～2.3（交通量±10%） <small>(残事業)</small> 交通量：B/C=9.3～11（交通量±10%） <small>(事業全体)</small> 事業費：B/C=2.1～2.2（事業費±10%） <small>(残事業)</small> 事業費：B/C=9.8～11（事業費±10%） <small>(事業全体)</small> 事業期間：B/C=2.0～2.1（事業期間±20%） <small>(残事業)</small> 事業期間：B/C=9.7～10（事業期間±20%）					
<b>事業の効果等</b>					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・高速性・定時性の向上を図ることで、北九州市内の広域交流拠点間の連携を強化する。</li> <li>・緊急輸送道路でもある都市高速道路ネットワークにおける代替路の確保、機能強化を図る。</li> <li>・市街地及び路線周辺地域における交通混雑を緩和する。</li> </ul>					
<b>関係する地方公共団体等の意見</b>					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・北九州市道路整備中長期計画において、「国際競争力を強化する広域物流ネットワーク」に位置付けられており、早期整備が望まれている。</li> <li>・北九州市議会及び地元住民より早期整備の要望がなされている。</li> </ul>					
<b>事業評価監視委員会の意見</b>					
事業の重要性、効果は高いものであり、事業継続は妥当であると認められた。					
<b>事業採択時より再評価実施までの周辺環境変化等</b>					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和4年4月1日に戸畑枝光線（戸畑枝光間）が重要物流道路に指定。</li> <li>・八幡東区東田地区等周辺開発の増進（ジアウトレット北九州 令和4年4月開業）</li> <li>・令和4年に、戸畑枝光線の有料化（合併施行方式）を公表。</li> </ul>					
<b>事業の進捗状況、残事業の内容等</b>					
用地取得率約99%、事業進捗率約80%					
<b>事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等</b>					
地元や関係機関の協力体制の元、今後も引き続き早期開通に向け工事等の進捗を図っていく。					
<b>施設の構造や工法の変更等</b>					
現地発生土の有効活用や、新工法や新技術の活用等により、コスト縮減を図る。					
<b>対応方針</b>	事業継続				
<b>対応方針決定の理由</b>					
事業の必要性、重要性は変化なく、費用対効果の投資効果も確保されているため。					

事業概要図



凡 例	
	(都)戸畑枝光線(牧山ランプ～枝光ランプ)
	(都)戸畑枝光線(戸畑～牧山)(事業中)
	北九州都市高速道路
	自動車専用道路

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価値を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。  
 ※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳と一致しないことがある。